

白銀神社

奈良時代（710-794）に建立された白銀崎にあるこの神社は、元気を回復させエネルギーを与えてくれる素晴らしい自然の美を備えた場所、「パワースポット」とされています。神社に続く道をとり囲むうっそうとした森は、近世にこの地域を治めていた大名家、伊達家の鹿狩り場でした。苔で覆われた石の鳥居が森と神社の敷地を隔てており、鹿のモチーフで飾られた古い石灯籠が本殿に続く道に沿って並んでいます。神聖な白銀神社の敷地からたとえ小さな小石ひとつでさえも持ち帰ることは禁じられています。

参拝者は白銀神社の本殿に入ることができます。この本殿は過去に二回建て直されています。朱塗りの壁の中には、江戸時代（1603-1868）に作られたとされる日本の伝統工芸品があります。登山道は、本殿のそばを通って太平洋を見渡す灯台へと続いています。この灯台は立ち入り禁止ですが、晴れた日には、岬からはるか向こうに神聖な島、金華山が見えます。